

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 入学者に対して学生の手引き等を通じて、教育目標、学位授与方針を、適切に伝達する。	→「学生の手引き」説明会への参加率	B	B	A	A	A
2. 入学者に対して学生の手引き等を通じて、教育課程の編成・実施方針を、適切に伝達する。	→「学生の手引き」説明会への参加率	B	A	A	A	A
3. ウェブサイトを通じて、教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を、適切に伝達する	→ウェブサイトへのアクセス数	C	B	B	A	A
4. 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針についての、内部評価を実施する	→内部評価のための会合の開催回数	B	B	A	A	A

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか ディプロマ・ポリシーについて「学生の手引き」に明記するとともに、入学式オリエンテーションでは、当該手引きをもって入念に説明している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 「学生の手引き」に明記していること、また入学式オリエンテーションで周知していることから、適切に伝達できている。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も「学生の手引き」に明記すること、そして入学式オリエンテーションでの周知も継続する。	☆
		その他	☆

目標2	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか カリキュラム・ポリシーについて「学生の手引き」に明記するとともに、入学式オリエンテーションでは、当該手引きをもって入念に説明している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 「学生の手引き」に明記していること、また入学式オリエンテーションで周知していることから、適切に伝達できている。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も「学生の手引き」に明記すること、そして入学式オリエンテーションでの周知も継続する。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
目標3	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか ウェブサイト上で、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを公表している。博士課程の単一のページに掲載している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か ウェブサイトに掲載することで、「学生の手引き」と併せて、適切に伝達できている。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も「学生の手引き」と併せて、ウェブサイトでの掲載を継続する。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
目標4	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 教育目標、学位授与方針、教育課程について研究科委員会(教授会)で検討し、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを策定した。また、各ポリシーについては毎年内容を点検している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 内部評価のための会合ではないが、月次の研究科委員会(教授会)において検討している。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 内部評価を怠らないよう 定期的な点検を継続する。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
備考			☆